

平成22年地価公示（奈良県分）結果概要

このたび、国土交通省において、平成22年地価公示に基づく平成21年1月以降の1年間の地価動向がとりまとめられましたので、その概要について下記のとおりお知らせします。

記

奈良県の地価は、厳しい景気状況下での需要の減退により、全用途の平均で4.5%の下落（昨年2.1%の下落）となり、下落幅が拡大した。

用途別平均変動率

（単位：％ ▲はマイナス）

用途	住宅地	宅地 見込地	商業地	準工業地	工業地	調区内 宅地	全用途
22年	▲4.5	▲4.9	▲4.6	▲5.4	▲5.4	▲4.0	▲4.5
21年	▲2.1	▲3.5	▲1.9	▲2.1	▲2.0	▲2.2	▲2.1

【住宅地】

- 平均で4.5%の下落（昨年は2.1%の下落）
- 継続調査地点（306地点）全てで下落
- ほぼ全ての継続調査地点で下落幅が拡大（平均で2.4ポイント拡大）

【商業地】

- 平均で4.6%の下落（昨年は1.9%の下落）
- 継続調査地点（56地点）全てで下落
- ほぼ全ての継続調査地点で下落幅が拡大（平均で2.7ポイント拡大）